



新たな出発点！ 第3回労連大会を開催！

2月11日、J R東海労連は名古屋市内で第3回定期大会を開催しました。

淵上委員長は挨拶で、「今回の大会から、昨年結成されたJ R S E労働組合の加盟申請が承認され3単組での開催になりました。職場での奮闘の成果が表れている大会であることを確認していきたい。元気で前を向いていれば必ず変わります。この定期大会を出発点として強く元気よく突き進んでいこう。」と訴えました。

質疑応答では、J S労働組合員から「年間休日120日の要求を実現するため大阪府労働委員会に救済を申し立てました。4回も5回も団交をして、なぜ、現場社員の113日と本社社員の120日に違いがあるのか質しても、合理的な説明ができない。だから申し立てをおこなった。」「サービック労組の組合員からのハラスメントを受けているとの相談が寄せられた。J S労が動いたら、相談者への追及がはじまり、そんなサービック労組と決別しJ S労への加入を表明した。この組合員に激励をお願いします。」との発言がありました。

本橋事務局長から「サービック労組を脱退した勇気に学ぶ。パワハラは絶対に許さない。J R総連を脱退して今は自由にやれる。更なる組織拡大を勝ち取ろう」と総括答弁がありました。

2026年 新役員

執行委員長	淵上	利和
執行副委員長	柳楽	関
執行副委員長	畑野	浩孝
執行副委員長	山本	真治
事務局長	本橋	浩司
事務局次長	小林	國博

